

4 ドメスティック・バイオレンス（DV）について

問9 あなたは、次の①～⑭の各項目のようなことが、配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

すべての項目で「思う」が「思わない」を上回っています。「思う」の中では、「②殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す」が最も高く96.2%となっています。一方最も低かった項目は、「⑥携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る」の69.9%となっています。

性別にみても、全体的な傾向とほぼ同様となっておりますが、すべての項目において、女性の方が男性より「思う」の割合が高くなっており、③、⑦、⑨、⑩、⑪は7ポイント以上の差があります。

単位：%

			思う	思わない	無回答
① 平手で打つ	身体的	全体(n=1,131)	92.6	4.6	2.8
		女性(n= 651)	94.8	2.9	2.3
		男性(n= 474)	89.9	6.8	3.4
② 殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す	精神的	全体(n=1,131)	96.2	1.1	2.7
		女性(n= 651)	97.2	0.9	1.8
		男性(n= 474)	94.9	1.5	3.6
③ 大声でどなる	精神的	全体(n=1,131)	80.0	17.0	3.0
		女性(n= 651)	83.3	14.7	2.0
		男性(n= 474)	75.5	20.3	4.2
④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	精神的	全体(n=1,131)	91.2	6.2	2.7
		女性(n= 651)	91.6	6.6	1.8
		男性(n= 474)	90.7	5.7	3.6
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	全体(n=1,131)	82.3	14.8	2.9
		女性(n= 651)	84.6	13.1	2.3
		男性(n= 474)	79.1	17.3	3.6
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	社会的	全体(n=1,131)	69.9	27.3	2.7
		女性(n= 651)	71.3	26.7	2.0
		男性(n= 474)	67.9	28.5	3.6
⑦ 外出を制限する	社会的	全体(n=1,131)	81.8	15.2	3.0
		女性(n= 651)	85.3	12.4	2.3
		男性(n= 474)	77.4	18.8	3.8
⑧ 何を言っても無視し続ける	精神的	全体(n=1,131)	81.0	15.9	3.0
		女性(n= 651)	82.0	15.5	2.3
		男性(n= 474)	79.7	16.5	3.8
⑨ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う	精神的	全体(n=1,131)	87.4	9.4	3.1
		女性(n= 651)	90.9	6.3	2.6
		男性(n= 474)	82.7	13.7	3.6
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	全体(n=1,131)	85.5	11.4	3.1
		女性(n= 651)	88.9	8.6	2.5
		男性(n= 474)	81.0	15.2	3.8
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	経済的	全体(n=1,131)	89.0	8.2	2.6
		女性(n= 651)	92.3	5.5	1.8
		男性(n= 474)	84.8	11.8	3.4
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	全体(n=1,131)	89.6	7.5	2.8
		女性(n= 651)	91.2	6.5	2.2
		男性(n= 474)	87.6	8.9	3.6
⑬ 性的な行為を強要する	性的	全体(n=1,131)	94.9	2.5	2.7
		女性(n= 651)	95.7	2.3	2.0
		男性(n= 474)	93.9	2.7	3.4
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	性的	全体(n=1,131)	94.6	2.7	2.7
		女性(n= 651)	95.5	2.6	1.8
		男性(n= 474)	93.5	3.0	3.6

経年比較

【女性】

過去に実施した調査と比較すると、女性は「⑧何を言っても無視し続ける」を除く項目で「思う」の割合が上がっています。特に、「①平手で打つ」、「⑫相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」、「⑬性的な行為を強要する」は前回調査と比較して6ポイント以上上がっています。

単位：%

			思う	思わない	無回答
① 平手で打つ	身体的	令和元年 (n=651)	94.8	2.9	2.3
		平成27年 (n=669)	88.5	5.7	5.8
		平成24年 (n=659)	91.2	5.5	3.3
		平成17年 (n=730)	80.3	11.5	8.2
③ 大声でどなる	精神的	令和元年 (n=651)	83.3	14.7	2.0
		平成27年 (n=669)	81.6	11.4	7.0
		平成24年 (n=659)	82.7	14.9	2.4
		平成17年 (n=730)	72.6	19.2	8.2
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	令和元年 (n=651)	84.6	13.1	2.3
		平成27年 (n=669)	83.6	9.7	6.7
		平成24年 (n=659)	82.4	14.6	3.0
		平成17年 (n=730)	60.7	29.9	9.5
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	社会的	令和元年 (n=651)	71.3	26.7	2.0
		平成27年 (n=669)	71.0	19.9	9.1
⑦ 外出を制限する	社会的	令和元年 (n=651)	85.3	12.4	2.3
		平成27年 (n=669)	83.3	9.4	7.3
⑧ 何を言っても無視し続ける	精神的	令和元年 (n=651)	82.0	15.5	2.3
		平成27年 (n=669)	83.0	9.6	7.5
		平成17年 (n=730)	59.7	30.4	9.9
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	令和元年 (n=651)	88.9	8.6	2.5
		平成27年 (n=669)	85.7	7.5	6.9
		平成24年 (n=659)	84.8	12.4	2.7
		平成17年 (n=730)	67.1	23.6	9.3
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	経済的	令和元年 (n=651)	92.3	5.5	1.8
		平成27年 (n=669)	87.6	5.5	6.9
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	令和元年 (n=651)	91.2	6.5	2.2
		平成27年 (n=669)	83.4	10.0	6.6
		平成24年 (n=659)	84.1	13.2	2.7
		平成17年 (n=730)	72.9	18.9	8.2
⑬ 性的な行為を強要する	性的	令和元年 (n=651)	95.7	2.3	2.0
		平成27年 (n=669)	89.7	3.1	7.2
		平成17年 (n=730)	89.2	4.5	6.3
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	性的	令和元年 (n=651)	95.5	2.6	1.8
		平成27年 (n=669)	90.3	2.4	7.3

【男性】

過去に実施した調査と比較すると、男性は、「①平手で打つ」、「③大声でどなる」、「⑬性的な行為を強要する」、「⑭避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」で「思う」の割合が前回調査と比較して上がっています。

単位：%

			思う	思わない	無回答
① 平手で打つ	身体的	令和元年(n=474)	89.9	6.8	3.4
		平成27年(n=511)	89.6	7.0	3.3
		平成24年(n=477)	89.1	8.2	2.7
		平成17年(n=552)	76.6	14.7	8.7
③ 大声でどなる	精神的	令和元年(n=474)	75.5	20.3	4.2
		平成27年(n=511)	74.8	21.3	3.9
		平成24年(n=477)	75.9	21.8	2.3
		平成17年(n=552)	59.8	30.8	9.4
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	令和元年(n=474)	79.1	17.3	3.6
		平成27年(n=511)	83.4	12.5	4.1
		平成24年(n=477)	82.0	15.7	2.3
		平成17年(n=552)	62.0	27.4	10.7
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	社会的	令和元年(n=474)	67.9	28.5	3.6
		平成27年(n=511)	74.2	21.5	4.3
⑦ 外出を制限する	社会的	令和元年(n=474)	77.4	18.8	3.8
		平成27年(n=511)	80.0	15.9	4.1
⑧ 何を言っても無視し続ける	精神的	令和元年(n=474)	79.7	16.5	3.8
		平成27年(n=511)	80.6	15.5	3.9
		平成17年(n=552)	57.1	31.9	11.1
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	令和元年(n=474)	81.0	15.2	3.8
		平成27年(n=511)	82.2	13.7	4.1
		平成24年(n=477)	78.0	18.2	3.8
		平成17年(n=552)	64.9	23.9	11.2
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	経済的	令和元年(n=474)	84.8	11.8	3.4
		平成27年(n=511)	87.9	8.2	3.9
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	令和元年(n=474)	87.6	8.9	3.6
		平成27年(n=511)	87.9	8.8	3.3
		平成24年(n=477)	84.9	12.4	2.7
		平成17年(n=552)	75.5	14.9	9.6
⑬ 性的な行為を強要する	性的	令和元年(n=474)	93.9	2.7	3.4
		平成27年(n=511)	91.4	4.7	3.9
		平成17年(n=552)	86.4	5.1	8.5
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	性的	令和元年(n=474)	93.5	3.0	3.6
		平成27年(n=511)	91.4	3.9	4.7

【暴力だと「思う」割合】

身体的、精神的、社会的、経済的、性的の5つの暴力における下の5つの項目の「思う」の割合について、過去に実施した調査と比較すると、「⑤相手の交友関係や電話を必要以上に監視する」を除く全ての項目で最も高く、平均値も最も高くなっています。

単位：%

		平成17年度	平成21年度※	平成24年度	平成27年度	令和元年度
① 平手で打つ	身体的	78.6	89.0	89.8	88.9	92.6
③ 大声でどなる	精神的	66.9	75.6	79.4	78.6	80.0
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	61.1	78.9	81.7	83.4	82.3
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	66.0	79.9	81.4	84.0	85.5
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	73.9	83.7	83.9	85.2	89.6
平均値		69.3	81.4	83.2	84.0	86.0

※平成21年度の数値は、無回答を含めて再計算したものです。

◎平塚市の現状◎（ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計）

「DVの内容を暴力と思う市民の割合」（上記の身体的、精神的、社会的、経済的、性的の5つの暴力における5つの項目の平均値）

86.0%という結果になり、前回調査と比較して2ポイント上がっています。

問10 あなたは、次の①～⑭の項目のようなことについて、過去1年以内に配偶者やパートナー、交際相手に対して、「した」または「された」経験がありますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

※「した」・「された」の両方を回答したのも有効回答とし、それぞれの割合に含まれています。

暴力を「した」又は「された」経験については、「③大声でどなる」で「した」が13.8%、「された」が20.2%で最も高くなっています。

性別にみると、すべての項目において、女性の方が「された」経験の割合が高くなっています。

単位：%

			した	された	経験はない	無回答
① 平手で打つ	身体的	全体(n=1,131)	2.8	4.2	89.8	3.7
		女性(n= 651)	1.7	4.9	90.9	2.8
		男性(n= 474)	4.4	3.0	88.6	4.2
② 殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す	精神的	全体(n=1,131)	1.3	3.8	91.2	4.1
		女性(n= 651)	0.8	4.8	90.9	3.1
		男性(n= 474)	2.1	2.3	90.9	4.6
③ 大声でどなる	精神的	全体(n=1,131)	13.8	20.2	65.6	4.0
		女性(n= 651)	7.8	28.4	64.7	3.1
		男性(n= 474)	22.2	8.9	67.1	4.4
④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	精神的	全体(n=1,131)	1.2	5.1	90.5	3.9
		女性(n= 651)	1.5	6.0	90.2	2.9
		男性(n= 474)	0.8	3.8	91.1	4.4
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	全体(n=1,131)	1.1	4.2	91.6	3.7
		女性(n= 651)	1.2	4.5	92.0	2.8
		男性(n= 474)	1.1	3.6	91.4	4.2
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	社会的	全体(n=1,131)	2.7	6.5	88.2	3.9
		女性(n= 651)	3.7	6.8	88.0	3.1
		男性(n= 474)	1.5	6.1	88.8	4.2
⑦ 外出を制限する	社会的	全体(n=1,131)	1.1	4.3	91.2	4.0
		女性(n= 651)	0.8	5.7	90.8	3.2
		男性(n= 474)	1.5	2.3	92.0	4.2
⑧ 何を言っても無視し続ける	精神的	全体(n=1,131)	3.4	7.7	85.5	4.1
		女性(n= 651)	2.8	9.2	85.3	3.2
		男性(n= 474)	4.4	5.5	86.1	4.4
⑨ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」と言う	精神的	全体(n=1,131)	2.5	7.9	86.3	3.9
		女性(n= 651)	1.2	10.1	85.6	3.1
		男性(n= 474)	4.2	4.4	87.8	4.2
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	全体(n=1,131)	0.7	2.7	92.7	4.1
		女性(n= 651)	0.0	3.7	93.1	3.2
		男性(n= 474)	1.7	1.1	92.8	4.4
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	経済的	全体(n=1,131)	1.3	2.3	92.9	3.8
		女性(n= 651)	0.0	2.6	94.3	3.1
		男性(n= 474)	3.2	1.5	91.6	4.0
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	全体(n=1,131)	0.1	0.9	95.0	4.2
		女性(n= 651)	0.0	1.4	95.2	3.4
		男性(n= 474)	0.2	0.0	95.1	4.6
⑬ 性的な行為を強要する	性的	全体(n=1,131)	0.7	3.9	92.0	3.8
		女性(n= 651)	0.2	6.1	90.8	2.9
		男性(n= 474)	1.5	0.4	94.1	4.2
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	性的	全体(n=1,131)	0.3	1.9	94.0	4.1
		女性(n= 651)	0.3	3.1	93.2	3.4
		男性(n= 474)	0.2	0.2	95.4	4.2

経年比較

【女性】

過去に実施した調査と比較すると、女性は、「③大声でどなる」を除く項目で「経験はない」の割合が前回調査と比較して上がっています。特に、「①平手で打つ」、「⑪勝手に借金をする・無理に借金をさせる」は7ポイント以上上がっています。

単位：%

			した	された	経験はない	無回答
① 平手で打つ	身体的	令和元年 (n=651)	1.7	4.9	90.9	2.8
		平成27年 (n=669)	1.9	6.9	83.7	7.5
		平成24年 (n=659)	1.5	3.8	91.4	3.3
		平成17年 (n=730)	4.2	17.8	69.9	8.1
③ 大声でどなる	精神的	令和元年 (n=651)	7.8	28.4	64.7	3.1
		平成27年 (n=669)	4.5	20.5	68.8	6.3
		平成24年 (n=659)	3.2	22.5	70.6	3.8
		平成17年 (n=730)	6.2	31.5	55.2	7.1
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	令和元年 (n=651)	1.2	4.5	92.0	2.8
		平成27年 (n=669)	0.1	5.8	87.4	6.6
		平成24年 (n=659)	0.8	3.6	93.0	2.6
		平成17年 (n=730)	1.2	9.2	80.5	9.0
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	社会的	令和元年 (n=651)	3.7	6.8	88.0	3.1
		平成27年 (n=669)	2.7	5.5	83.9	7.9
⑦ 外出を制限する	社会的	令和元年 (n=651)	0.8	5.7	90.8	3.2
		平成27年 (n=669)	0.3	5.2	87.0	7.5
⑧ 何を言っても無視し続ける	精神的	令和元年 (n=651)	2.8	9.2	85.3	3.2
		平成27年 (n=669)	2.1	8.8	81.6	7.5
		平成17年 (n=730)	6.3	11.9	73.0	8.8
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	令和元年 (n=651)	0.0	3.7	93.1	3.2
		平成27年 (n=669)	0.4	5.1	88.0	6.4
		平成24年 (n=659)	0.6	4.1	92.6	2.7
		平成17年 (n=730)	0.5	6.7	83.8	8.9
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	経済的	令和元年 (n=651)	0.0	2.6	94.3	3.1
		平成27年 (n=669)	0.3	5.4	87.1	7.2
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	令和元年 (n=651)	0.0	1.4	95.2	3.4
		平成27年 (n=669)	0.0	1.5	91.0	7.5
		平成24年 (n=659)	0.0	1.5	96.1	2.4
		平成17年 (n=730)	0.1	4.5	86.6	8.8
⑬ 性的な行為を強要する	性的	令和元年 (n=651)	0.2	6.1	90.8	2.9
		平成27年 (n=669)	0.4	6.7	85.4	7.5
		平成17年 (n=730)	0.0	12.5	79.3	8.2
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	性的	令和元年 (n=651)	0.3	3.1	93.2	3.4
		平成27年 (n=669)	0.3	3.4	88.8	7.5

【男性】

過去に実施した調査と比較すると、男性は「⑫相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」、「⑬性的な行為を強要する」、「⑭避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する」を除く項目において、「した」・「された」経験がともに前回調査と比較して上がっています。

単位：%

			した	された	経験はない	無回答
① 平手で打つ	身体的	令和元年 (n=474)	4.4	3.0	88.6	4.2
		平成27年 (n=511)	3.5	1.6	89.6	5.3
		平成24年 (n=477)	1.0	2.1	95.2	1.7
		平成17年 (n=552)	16.1	6.0	69.4	8.5
③ 大声でどなる	精神的	令和元年 (n=474)	22.2	8.9	67.1	4.4
		平成27年 (n=511)	19.4	3.7	71.0	5.9
		平成24年 (n=477)	16.4	3.1	78.4	2.1
		平成17年 (n=552)	35.3	6.0	49.5	9.2
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	令和元年 (n=474)	1.1	3.6	91.4	4.2
		平成27年 (n=511)	0.6	1.2	93.3	4.9
		平成24年 (n=477)	0.6	1.7	96.2	1.5
		平成17年 (n=552)	1.3	3.3	85.7	9.8
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	社会的	令和元年 (n=474)	1.5	6.1	88.8	4.2
		平成27年 (n=511)	1.2	3.1	90.2	5.5
⑦ 外出を制限する	社会的	令和元年 (n=474)	1.5	2.3	92.0	4.2
		平成27年 (n=511)	1.2	2.2	91.6	5.1
⑧ 何を言っても無視し続ける	精神的	令和元年 (n=474)	4.4	5.5	86.1	4.4
		平成27年 (n=511)	3.9	3.9	86.5	5.7
		平成17年 (n=552)	12.0	6.9	71.9	9.2
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	令和元年 (n=474)	1.7	1.1	92.8	4.4
		平成27年 (n=511)	1.2	0.6	93.2	5.1
		平成24年 (n=477)	1.9	0.6	95.8	1.7
		平成17年 (n=552)	1.1	0.4	88.4	10.1
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	経済的	令和元年 (n=474)	3.2	1.5	91.6	4.0
		平成27年 (n=511)	0.8	1.4	93.2	4.7
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	令和元年 (n=474)	0.2	0.0	95.1	4.6
		平成27年 (n=511)	0.4	0.0	94.5	5.1
		平成24年 (n=477)	0.4	0.2	98.3	1.0
		平成17年 (n=552)	2.4	0.2	88.4	9.1
⑬ 性的な行為を強要する	性的	令和元年 (n=474)	1.5	0.4	94.1	4.2
		平成27年 (n=511)	1.0	0.4	94.1	4.5
		平成17年 (n=552)	3.8	0.2	86.8	9.2
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	性的	令和元年 (n=474)	0.2	0.2	95.4	4.2
		平成27年 (n=511)	0.4	0.0	95.1	4.5

【暴力を「された」割合】

身体的、精神的、社会的、経済的、性的の5つの暴力における下の5つの項目の「された」の割合について、過去に実施した調査と比較すると、平成17年度から21年度に全ての項目及び平均値が下がりましたが、それ以降は概ね上がっています。

前回調査と比較すると、「①平手で打つ」、「⑩家に生活費を入れない」は下がっています。

単位：%

		平成17年度	平成21年度※	平成24年度	平成27年度	令和元年度
① 平手で打つ	身体的	12.6	3.0	3.6	4.5	4.2
③ 大声でどなる	精神的	20.5	14.9	16.0	13.1	20.2
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	社会的	6.6	3.6	2.8	3.8	4.2
⑩ 家に生活費を入れない	経済的	3.9	2.1	2.7	3.1	2.7
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	性的	7.2	0.4	0.4	0.8	0.9
平均値		10.2	4.8	5.1	5.1	6.4

※平成21年度の数値は、無回答を含めて再計算したものです。

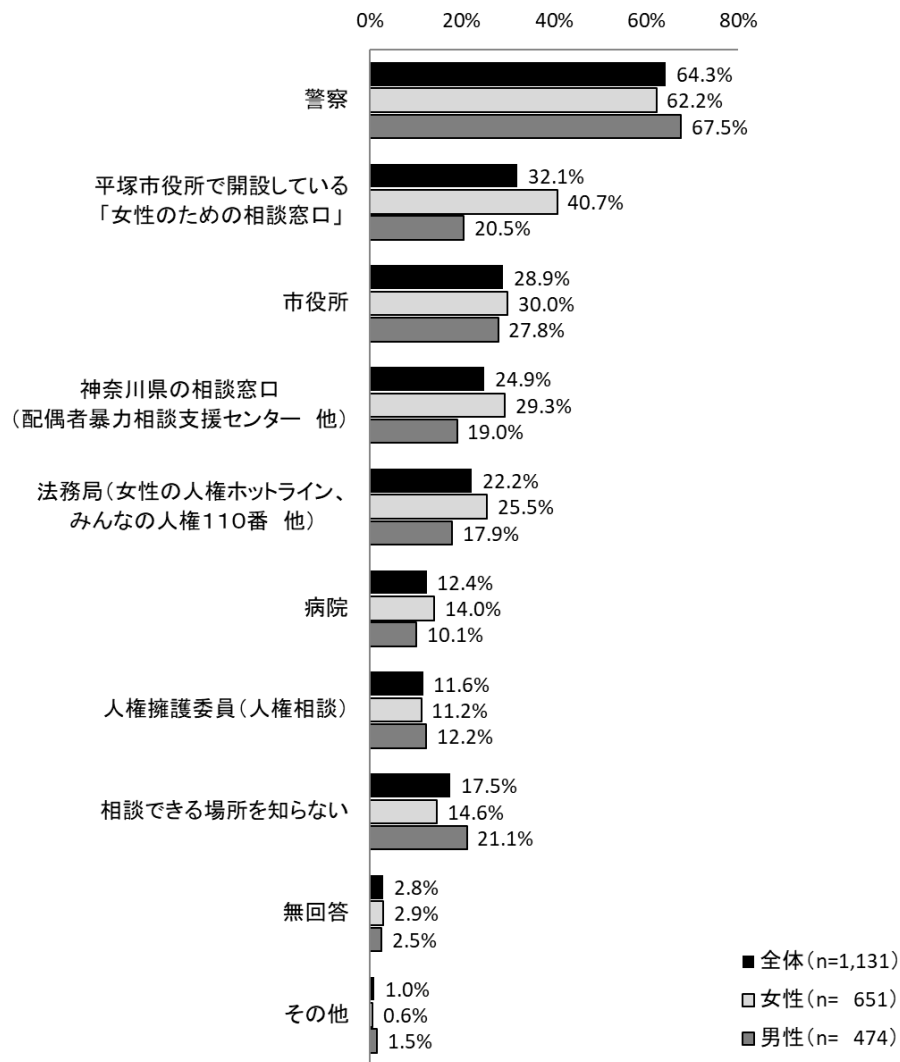
◎平塚市の現状◎（ひらつか男女共同参画プラン2017関連男女別統計）

「DV行為をされたことのある市民の割合」（暴力における上記5つの項目の「された」割合の平均値）

6.4%という結果になり、前回調査と比較して約1ポイント上がっています。

問 1 1 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について相談できる場所として、次の窓口や機関があることを知っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

交際相手からの暴力について相談できる場所の認知については、「警察」が64.3%と最も高く、次いで「平塚市役所で開設している『女性のための相談窓口』」が32.1%となっています。一方、「相談できる場所を知らない」は17.5%（女性14.6%、男性21.1%）でした。「その他」としては、「会社の相談窓口」「弁護士」などの回答がありました。



【「相談できる場所を知らない」と回答した人の性・年代毎の割合】

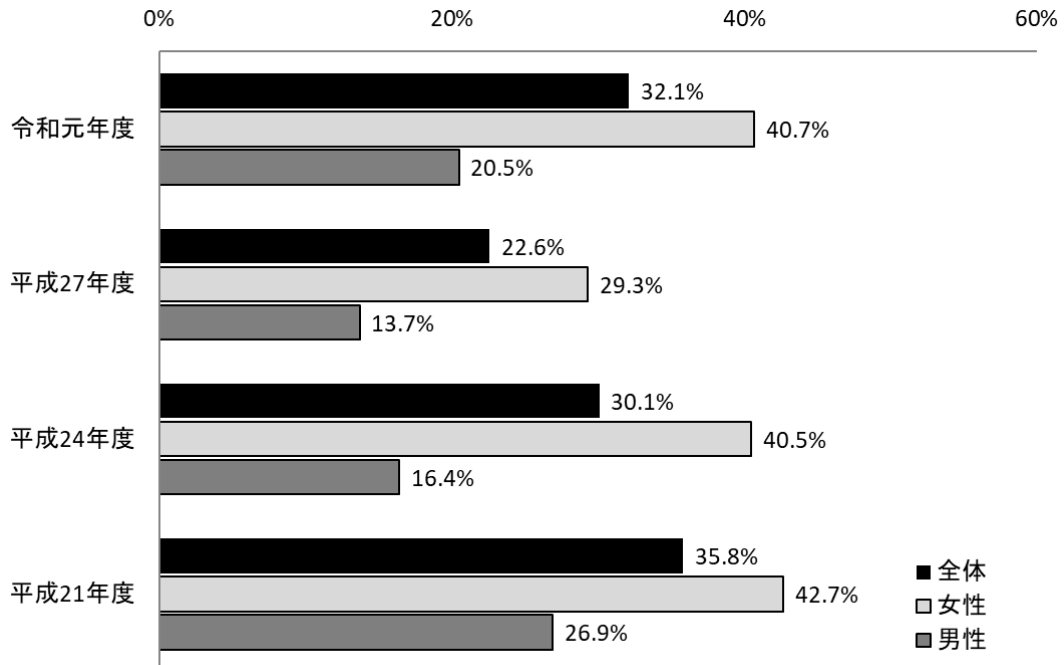
「相談できる場所を知らない」と回答した人の割合は10歳代が25.0%と最も高く、50歳代が16.2%と最も低くなっています。

性・年代別にみると、女性は10歳代が18.2%と最も高く、40歳代が11.5%と最も低くなっています。男性は40歳代が26.3%と最も高く、50歳代が15.8%と最も低くなっています。

単位:%	全体	女性	男性
10歳代	25.0	18.2	25.0
20歳代	18.3	14.7	25.6
30歳代	19.0	17.6	21.3
40歳代	17.4	11.5	26.3
50歳代	16.2	16.0	15.8
60歳代	16.7	13.5	20.4

【「女性のための相談窓口」を知っている割合の経年比較】

「女性のための相談窓口」を知っている割合は、全体・女性・男性とも平成 21 年度から 27 年度まで下がりましたが、今回の調査では、前回調査と比較して、全体・女性・男性とも上がっています。



◎ひらつか男女共同参画プラン2017-指標◎

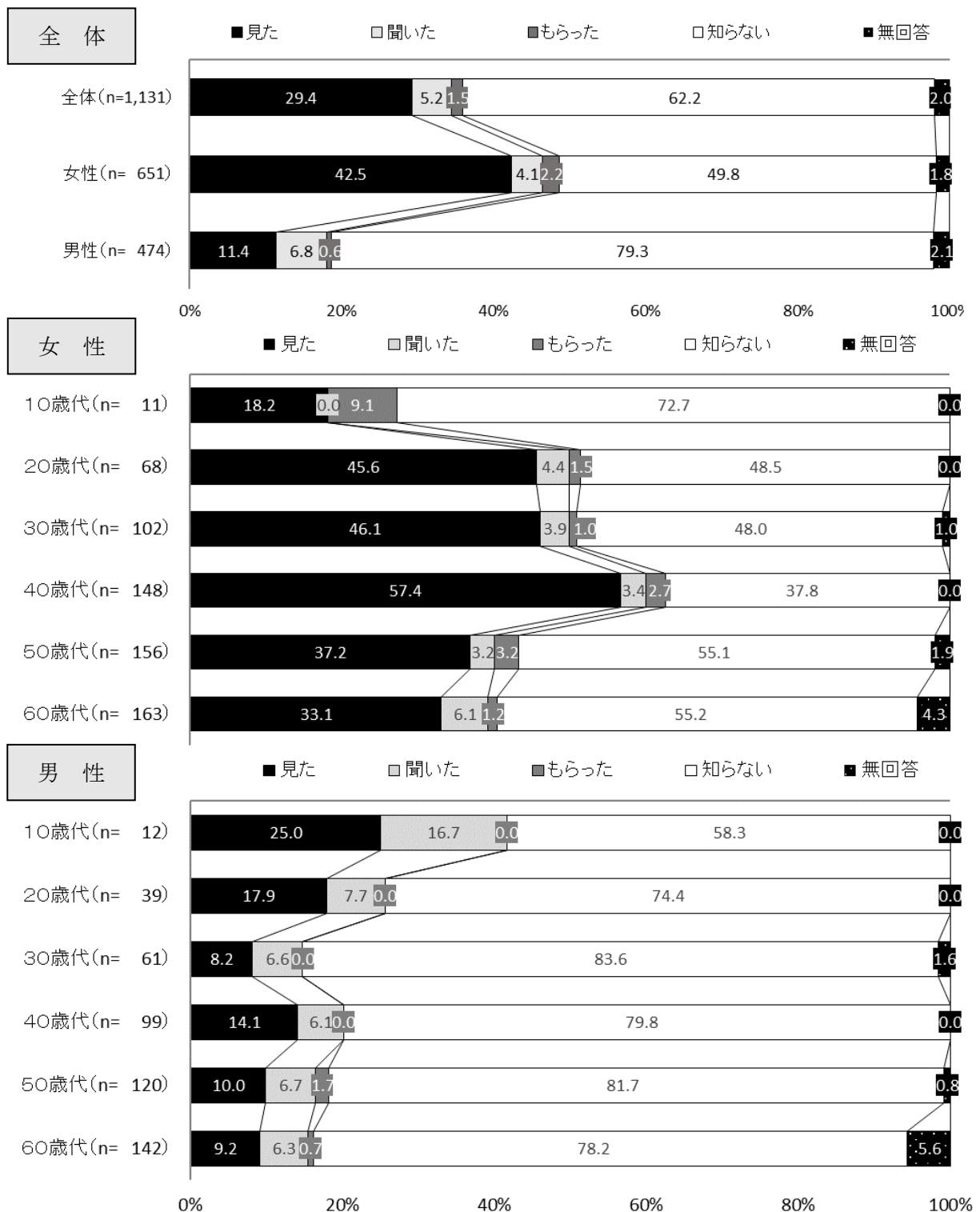
「DVの相談ができる窓口をどこか一つでも知っている市民の割合」

令和2年度の前期目標値を50.0%と定めていますが、今回の調査では、79.7% (901人、n=1,131) という結果になりました。

問 1 2 平塚市では、市役所や公民館などの市内公共施設のトイレに「DV相談窓口のご案内」カードを配架しています。あなたは、「DV相談窓口のご案内」カードを知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

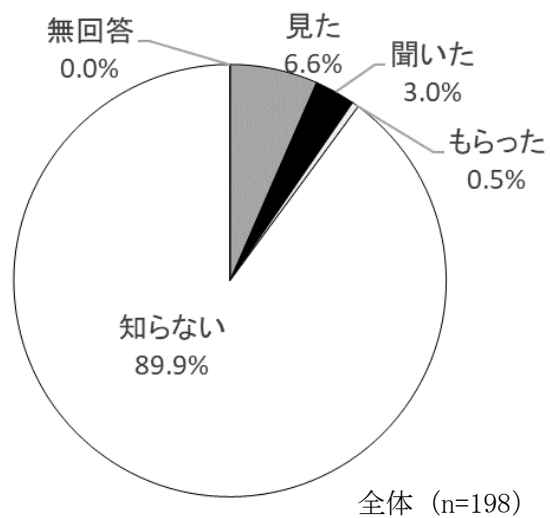
「DV相談窓口のご案内」カードの認知については、「見た」「聞いた」「もらった」など認知している割合は36.1%となっています。

性・年代別にみると、女性全体では5割弱の人が認知しており、特に40歳代は6割を超える結果となっています。10歳代を除くすべての年代で女性の方が男性より認知度が高くなっています。



【問 11 で「相談できる場所を知らない」と回答した人のカードの認知度】

問 11 で「相談できる場所を知らない」と回答した人のうち、カードを「見た」「聞いた」「もらった」のいずれかと回答した人は 10.1%、「知らない」と回答した人は 89.9%となっています。

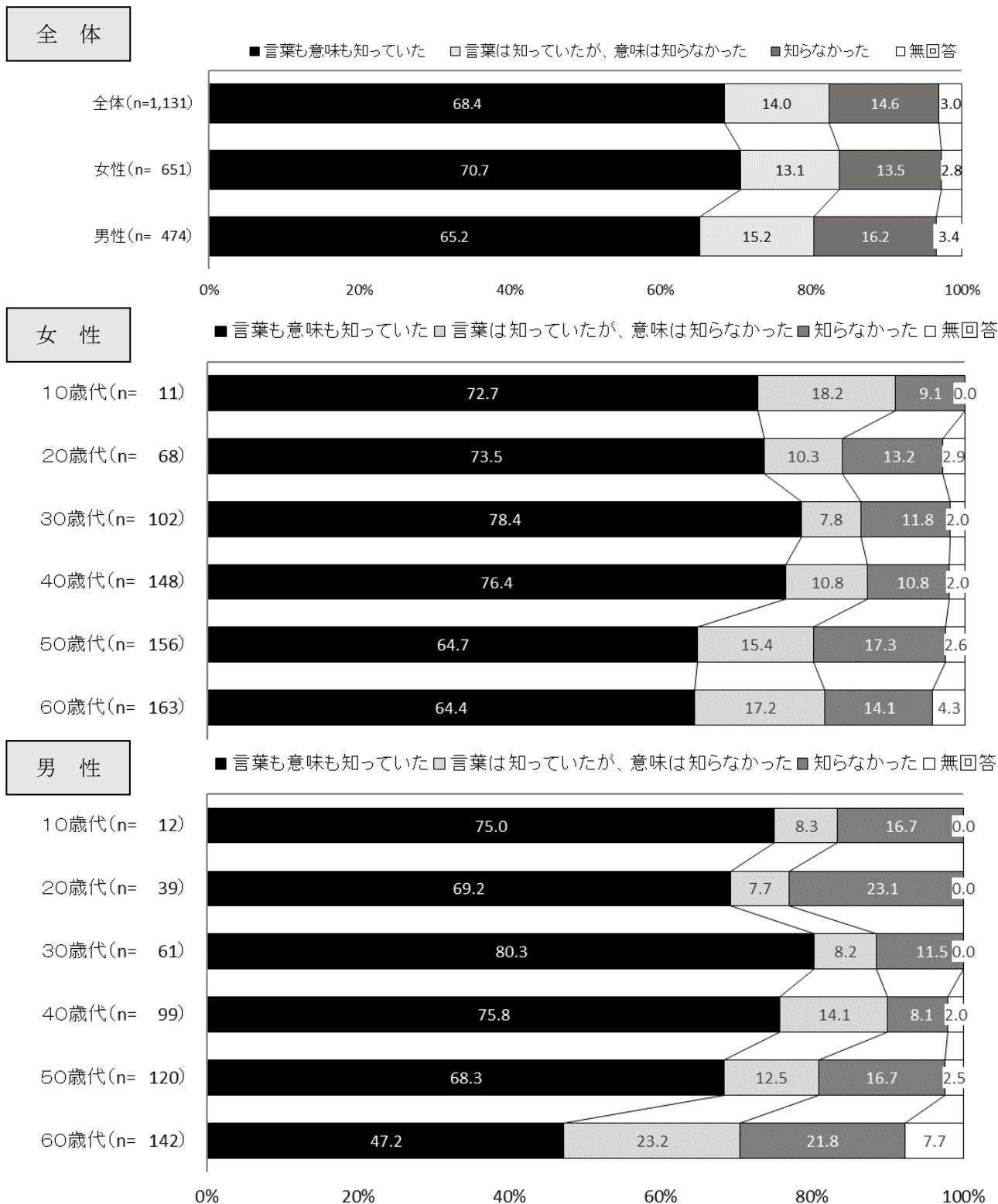


5 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）について

問13 あなたは、セクシュアルマイノリティ（LGBT等）という言葉を知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

セクシュアルマイノリティ（LGBT等）という言葉については、「言葉も意味も知っていた」が68.4%でした。

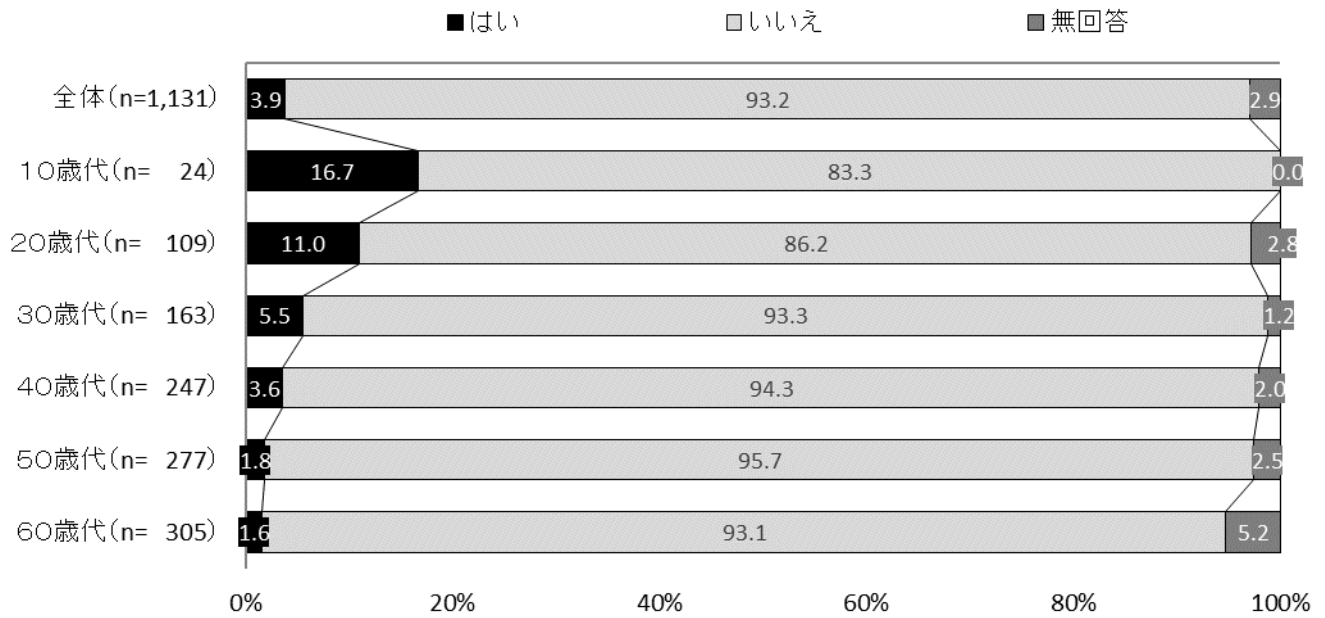
性・年代別にみると、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合は女性・男性ともに30歳代が8割前後と最も高くなっていますが、40歳代から60歳代にかけて徐々に低くなっています。



問 1 4 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向（同性愛など）に悩んだことはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

今までに自分の身体の性、心の性または性的指向（同性愛など）に悩んだことがあるかについては、「はい」と回答した割合は3.9%でした。

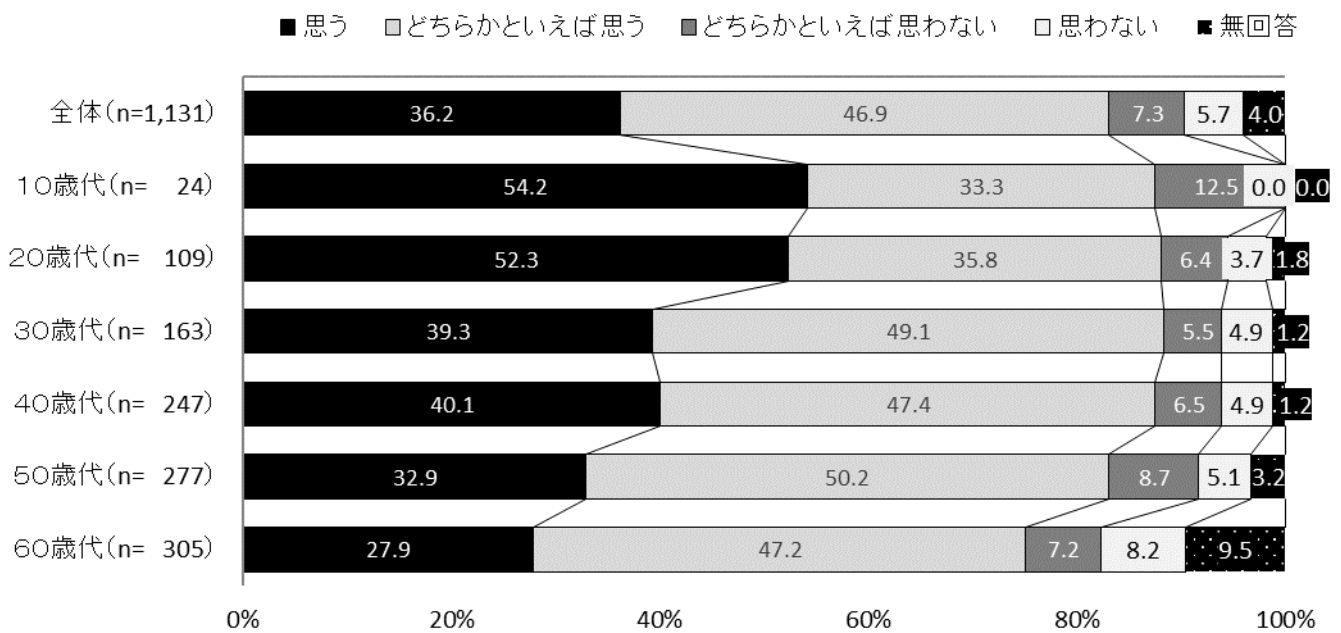
年代別にみると、「はい」と回答した割合は10歳代が16.7%と最も高く、年代が上がるにつれて徐々に低くなっています。



問 15 セクシュアルマイノリティ（LGBT 等）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

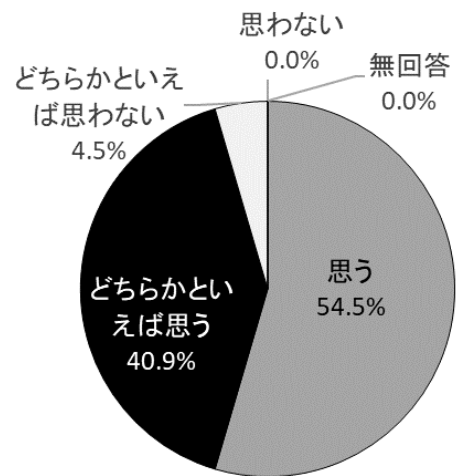
セクシュアルマイノリティ（LGBT 等）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思うかについては、「どちらかといえば思う」が 46.9%と最も高く、次いで「思う」が 36.2%となっており、合わせると8割を超えています。

年代別にみると、「思う」と回答した人の割合は10歳代の54.2%が最も高く、年代が上がるにつれて低くなっていますが、「どちらかといえば思う」と合わせると、60歳代を除くすべての年代で8割を超えています。



【問 14 で「悩んだことがある」と回答した人の回答結果】

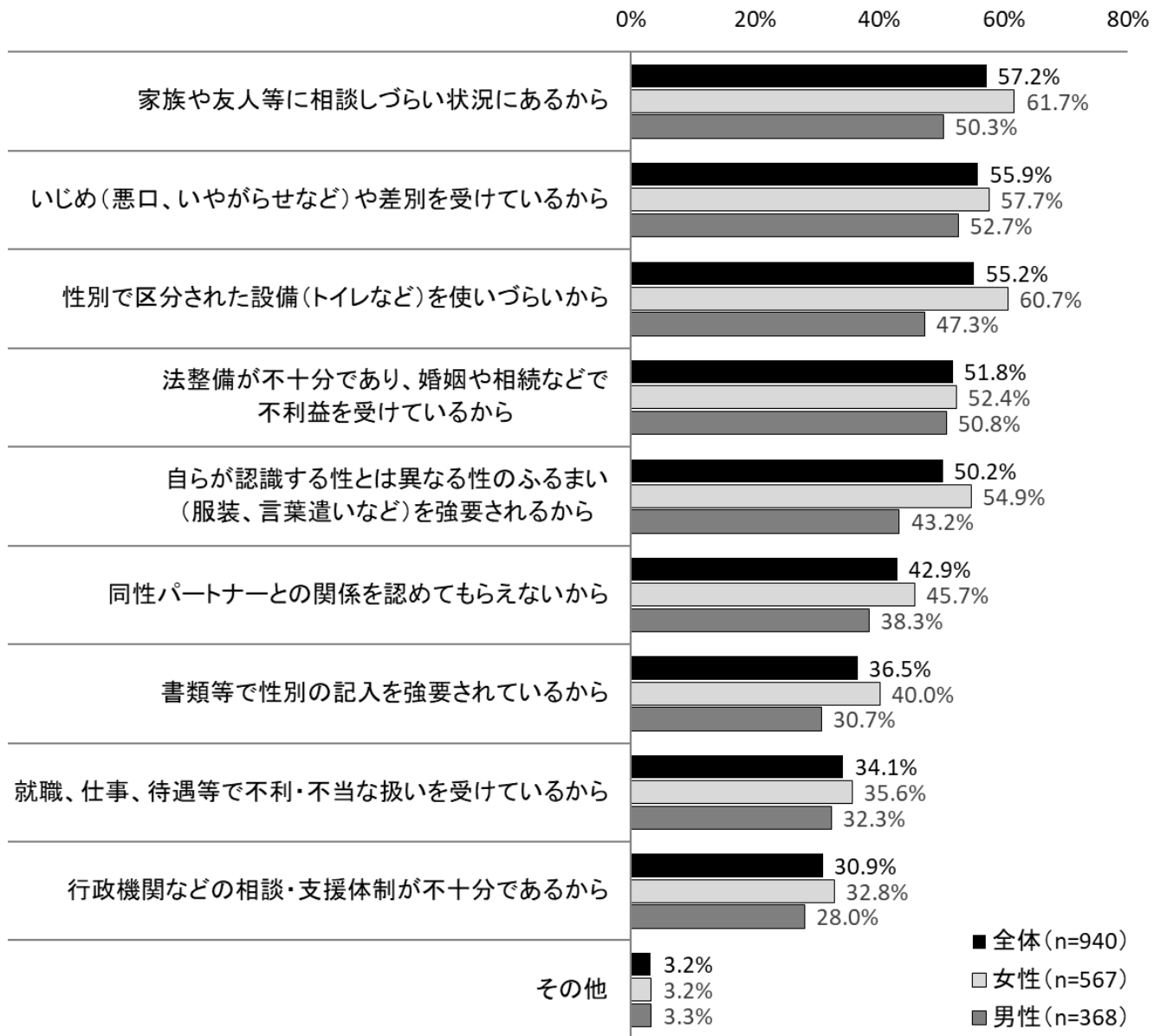
問 14 で「悩んだことがある」と回答した人は「思う」が 54.5%、「どちらかといえば思う」が 40.9%となっており、合わせると9割を超えています。



全体 (n = 44)

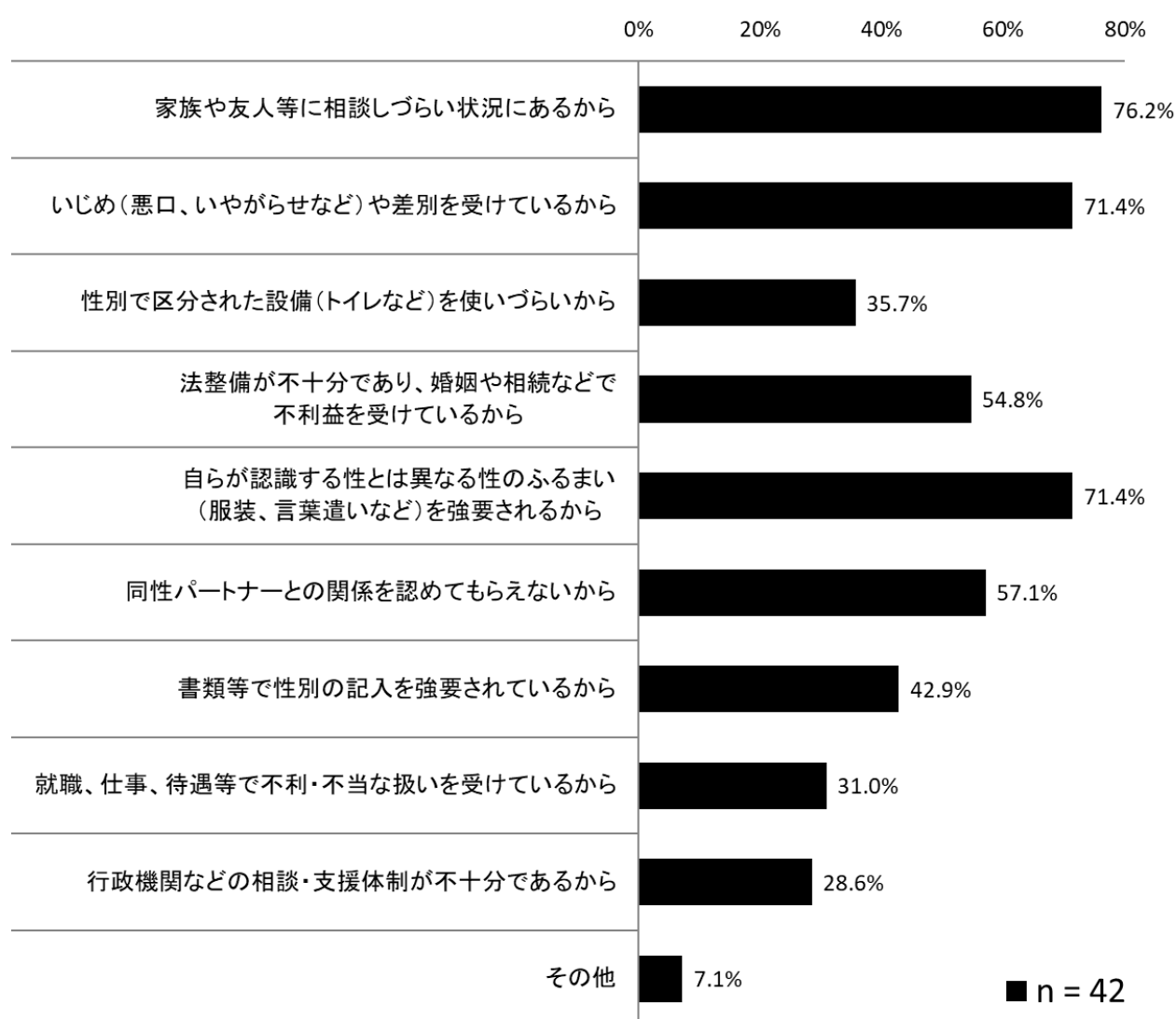
**問16 問15で、「1 思う」「2 どちらかと言えば思う」と回答した方にお聞きします。
それは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。**

問15で、「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した理由については、「家族や友人等に相談しづらい状況にあるから」が57.2%と最も高く、次いで「いじめ（悪口、いやがらせなど）や差別を受けているから」が55.9%となっています。「その他」としては、「認識が浸透していない」という回答がありました。



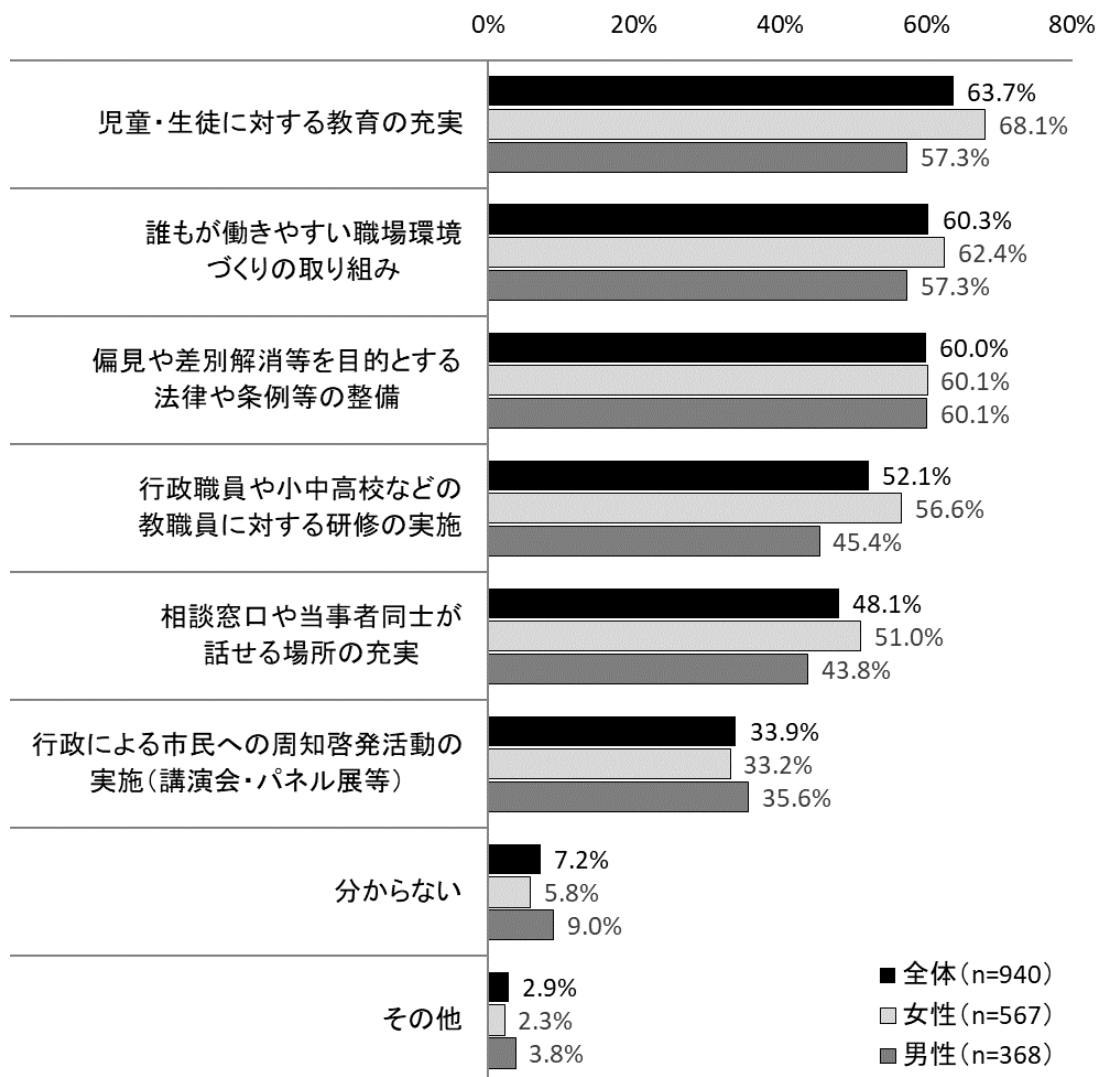
【問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人の回答結果】

問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人は、「家族や友人等に相談しづらい状況にあるから」が 76.2%と最も高く、次いで、「いじめ（悪口、いやがらせなど）や差別を受けているから」及び「自らが認識する性とは異なる性のふるまい（服装、言葉遣いなど）を強要されるから」が 71.4%となっています。



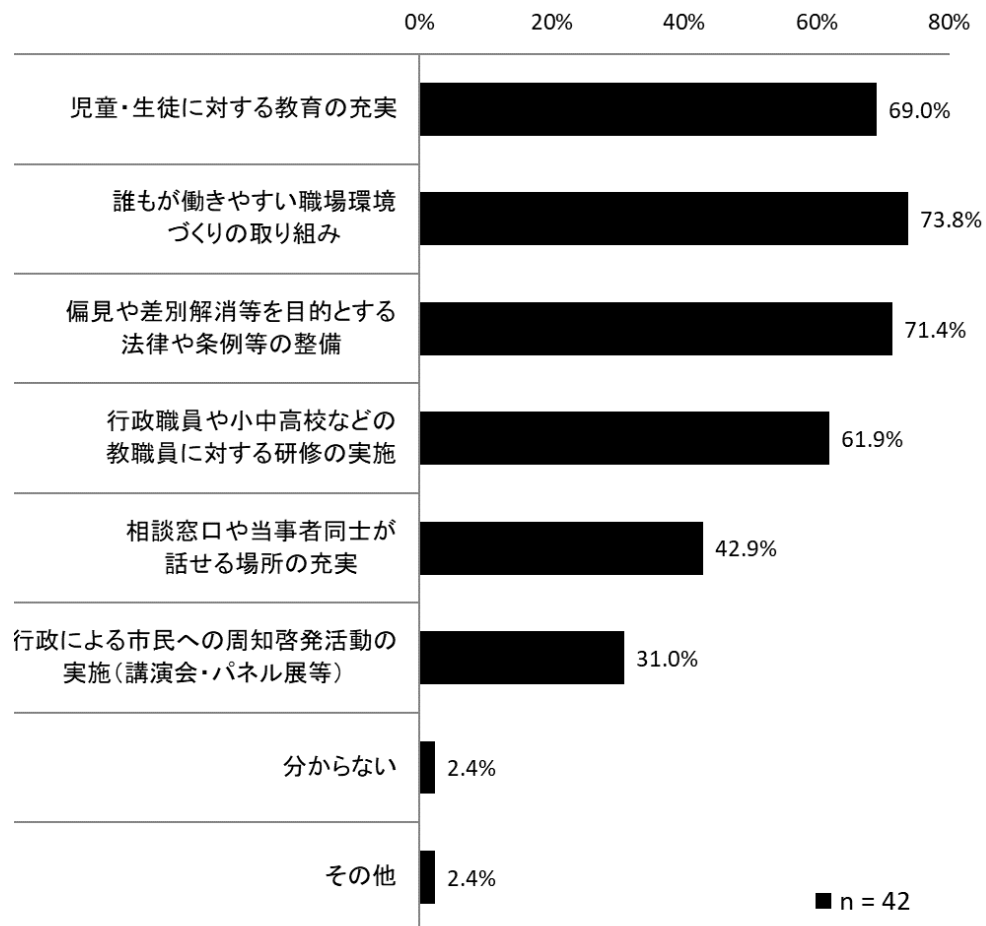
問17 あなたは、セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々にとって、偏見や差別をなくし生活しやすい社会を実現するために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々にとって、偏見や差別をなくし生活しやすい社会を実現するために、どのような対策が必要だと思うかについては、「児童・生徒に対する教育の充実」が63.7%と最も高く、次いで「誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み」が60.3%となっています。「その他」としては、「LGBTを題材としたドラマや映画が増えれば、自然と受け入れてくれる人や差別などが無くなると思う」という回答がありました。



【問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人の回答結果】

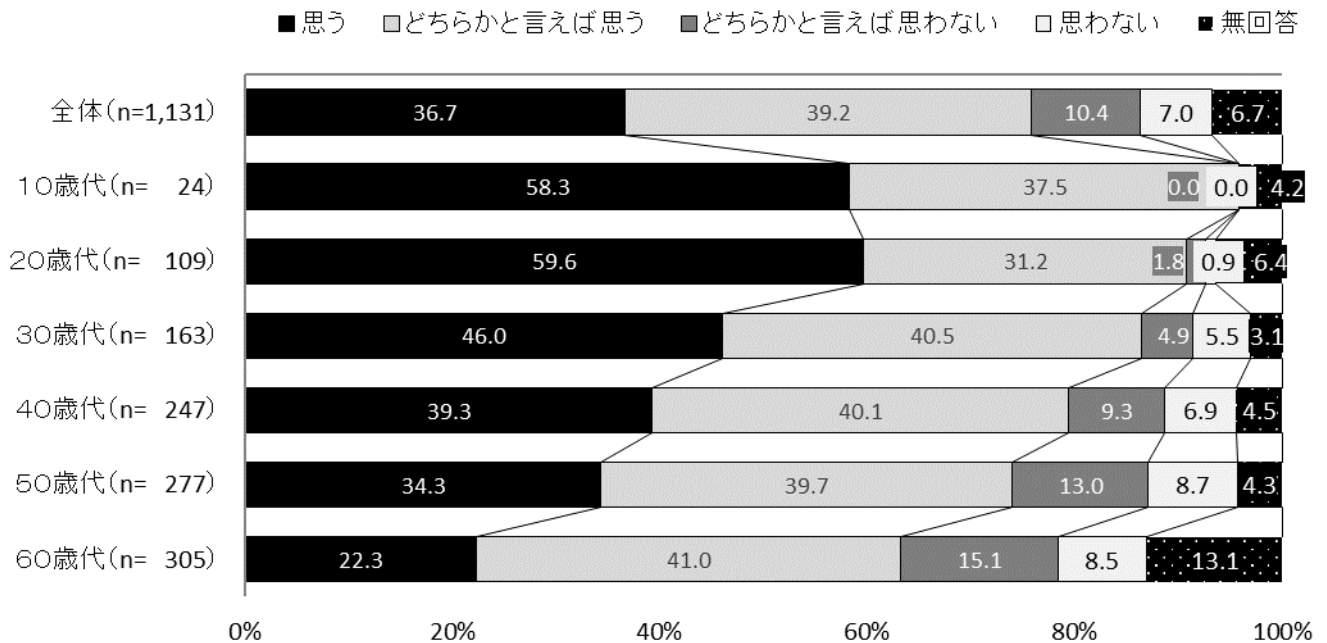
問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人は、「誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み」が 73.8%と最も高く、次いで、「偏見や差別解消等を目的とする、法律や条例等の整備」が 71.4%となっています。



問 18 現在、「同性パートナーシップ制度」を制定している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

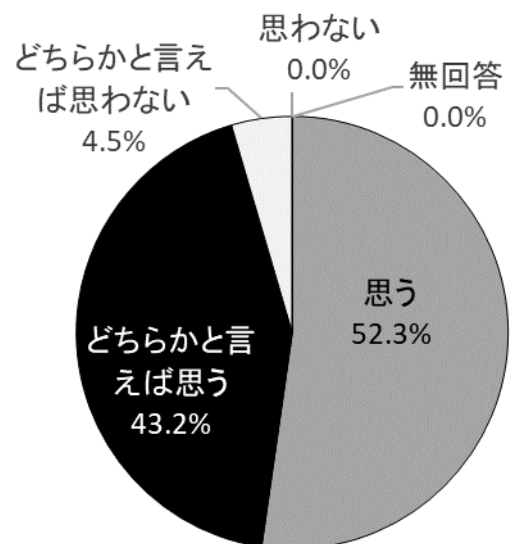
「同性パートナーシップ制度」が必要だと思うかについては、「どちらかと言えば思う」が39.2%と最も高く、次いで「思う」が36.7%となっており、肯定的な意見は75.9%となっています。

年代別にみると、肯定的な意見は、10歳代が95.8%と最も高く、年代が上がるにつれて徐々に低くなっていますが、最も低い60歳代でも6割を超えています。



【問 14 で「悩んだことがある」と回答した人の回答結果】

問 14 で「悩んだことがある」と回答した人は「思う」が52.3%、「どちらかといえは思う」が43.2%となっており、肯定的な意見は9割を超えています。



全体 (n = 44)

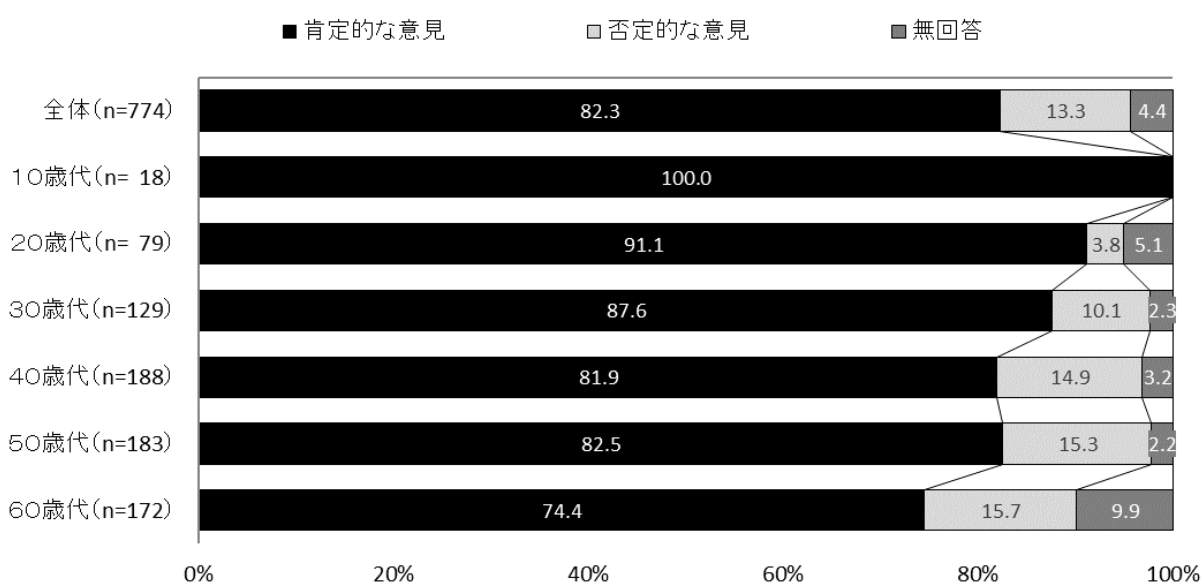
【問 13 における「セクシュアルマイノリティ（LGBT 等）」という言葉の認知と「パートナーシップ制度導入」に関する意見の関係】

問 13 で「言葉も意味も知っていた」と回答した人は、パートナーシップ制度導入に関して肯定的な意見が 82.3%、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の否定的な意見が 13.3%となっており、すべての年代で肯定的な意見が 7 割を超えています。

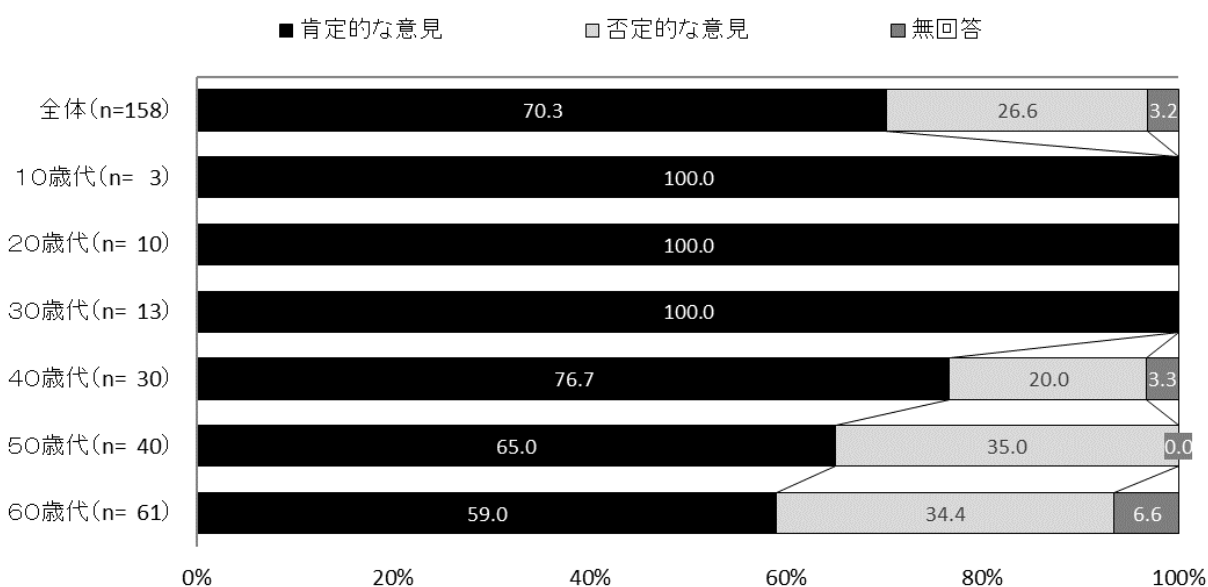
「言葉は知っていたが、意味はしらなかった」と回答した人は、肯定的な意見が 70.3%、否定的な意見が 26.6%となっており、60 歳代の肯定的な意見は 6 割未満ですが、その他の年代は 6 割を超えています。

「知らなかった」と回答した人は、肯定的な意見が 60.6%、否定的な意見が 29.1%となっており、60 歳代の肯定的な意見は 46.3%と最も低くなっています。

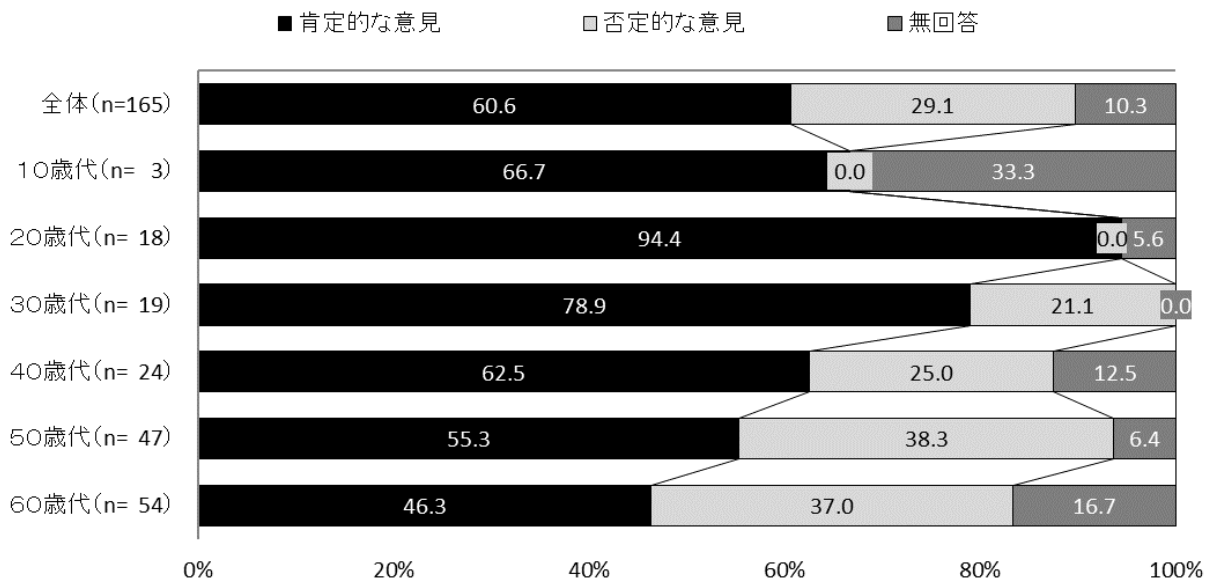
問 13 で「言葉も意味も知っていた」と回答した人



問 13 で「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」と回答した人

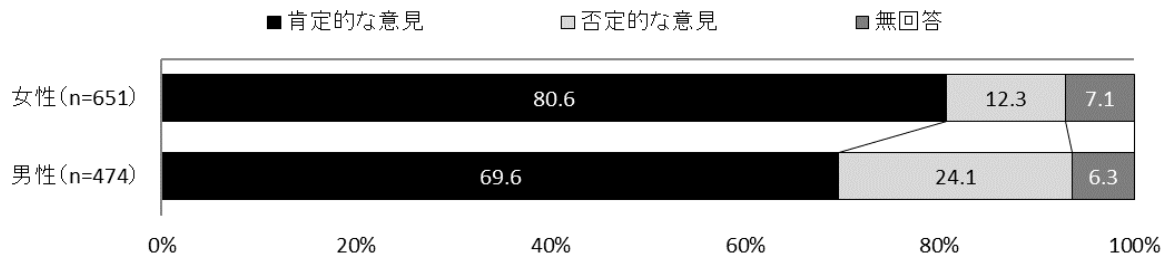


問 13 で「知らなかった」と回答した人



【性別にみた「パートナーシップ制度導入」に関する意見】

性別にみると、女性は肯定的な意見が 80.6%、否定的な意見が 12.3%となっており、男性は肯定的な意見が 69.6%、否定的な意見が 24.1%となっています。肯定的な意見は女性の方が 11 ポイント高く、否定的な意見は男性の方が約 12 ポイント高くなっています。



6 自由回答

最後に、男女共同参画についてのご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

男女共同参画についての意見を自由回答形式で求めたところ、173 人から回答がありました。主な意見は次のとおりです。

1. 男女平等に関する意識について (44 件)

- ・ジェンダーフリーになりつつあるので、「男女共同」という言葉の利用がもう古いと感じます。(平塚市がどこよりも早く理解あるまちになればいいのにと感じます。) ネーミングを改めるだけでも効果は高いと思います。慣習による偏見をなくす。年代別にあらゆる周知の仕方を変えるべき。理解度と経験値によって、平等社会や共同参画に抱くイメージが全く違うと思うからです。(もっと派手に告知や報告していいと思う。)(女性・40 歳代)
- ・男、女と明確に表現しているうちは人々の意識をこり固めている様な気がする。対人間みたいな意識改革がもっと進めばいいと思う。「助け合う」でいいのでは。(女性・50 歳代)
- ・私のイメージでは男性が仕事、女性が家事育児がありますので、これが今後もっと平等になっていけば良いと思います。ですが、最近はかなり平等が近づいていると感じます。差別などは絶対に良くないです。誰でも生きやすい世の中になってほしいです。(男性・10 歳代)
- ・女性だから不利という場がまだまだ多いと思う。男が偉いという時代は終わっていると思うので、男女平等の世の中になって欲しいと思います。(男性・20 歳代)
- ・人間に生まれた以上、男女の差は拭いきれないと思います。男女それぞれにしか出来ない話や雰囲気があるので、女性には女性の男性には男性の特徴を生かした社会を作り上げるべきだと思います。また、男女が対立した立場では平等という言葉は始まらないと思うので、お互いの理解を深める事が大事のように感じます。(男性・30 歳代)
- ・男女の区別なく、みんなが自分の個性や能力を生かして自由に活躍できるようになれば良いと思う。(男性・60 歳代)

2. 女性の参画について (14 件)

- ・女性が働きやすい環境を作ってくれないと、男女共同参画は難しいと思います。男性ばかりの職場では、生理や体調不良時など女性と感覚が違ってとてもやり難いです。これを見るのが男性では、変わる訳がないので、女性が沢山見てくれたらいいのにと感じます。(女性・20 歳代)
- ・女性が活躍するという制度や意識は進んで来た。また、女性を無理に管理職にするのは、おかしい。能力主義を徹底すべき。(女性・40 歳代)
- ・市議に女性議員を増やす。また、女性が育児の為に退職しないように保育所の増設や学童施設の充実、高齢者の為の介護サービスや施設等の充実が必要だと思う。(女性・60 歳代)

- ・共同参画と女性優遇が同義で扱われているように思う。政治でも労働の場でも能力で優劣を判断すべき（男性・40歳代）
- ・機会を妨げる必要はない。しかし、出産前後を除いて、どこまで男性に理解してもらうかが重要。（男性・60歳代）
- ・男性と女性の仕事上、私生活上、または男女間の力関係など、私たちの若い頃と比べるとずいぶんとその差がなくなってきたように思います。女性も地位向上のため、仕事に励み収入も増え、その立ち位置は男より優れている時代にも思えます。私は、当事者間が楽しく幸せになるよう願います。（男性・60歳代）

3. ワーク・ライフ・バランスや家庭生活について（13件）

- ・今は「女性も働こう」という世論になっていますが、私自身は希望して専業主婦になっているので、今の風潮ばかりを強調されることに疑問を感じます。主婦でいたいという意見も重視してほしいです。（女性・40歳代）
- ・イクメンという言葉自体が育児は基本女性の役割と言っている。それには子育て世代がちょうど働きざかりという事もあると思う。子育て世代が安心して働ける世の中になってほしいです。（女性・50歳代）
- ・男性も女性も家庭で過ごせる時間が増えるよう残業しなくても生活できる世になると良い。（女性・50歳代）
- ・男性・女性ともに仕事・家庭・地域の生活を諦めないで質を高める努力が大事だと思います。感謝も大事です。（女性・60歳代）
- ・高齢者の特に男性の意識改革が追い付かない。若い人たちは、徐々に家事分担が身に付き始めているが、共働きで育児をしている女性の負担は多大である。高齢者夫婦も女性の負担は大きい。（女性・60歳代）

4. DVや人権について（14件）

- ・難しい法律等も必要かもしれないが、各々の心の根底に「相手を思いやる気持ち」があれば、誰もが心穏やかに生活できるのではないかと思う。（女性・30歳代）
- ・女性への差別が他の国に比べて多過ぎる。女は子育てして当たり前、男は何もしなくても何も言われなかったり、女性が性暴力を受けても男には何の責任も問われなかったり、あまりにもひどいと思う。他国をもっと見習って法を整備すべき。（女性・30歳代）
- ・「DV相談窓口のご案内」カードの設置場所を拡大した方がいいと思います。駅や商業施設のトイレにも置いた方がより多くの人にも知ってもらえるし、利用しようと思う人も増えると思います。公共施設はハードルが高くて、よっぽどの用事がないと行かないと思います。（女性・30歳代）
- ・DV等は、やっている人もやられている人も何がDVか再認識することが大切だと思う。やっている人側の教育も必要だと思うし、やられている人側もそれはDVなんだと明確に認識し、どこに相談したり助けてもらったりすれば良いかということがすぐ分かるよう、誰にでも分かって周りの人もアドバイスできるよう公に示されることが大切だと思う。DVと気付いていない人もまだまだ沢山いると思う。（女性）

- ・DVとして女性被害者ばかりが注目されているように見えますが、男性被害者もいると思います。女性被害者以上に男性は助けをを求める事が難しい現状を、男女共に被害者がいる事、相談窓口があることを周知徹底してはどうですか。(男性・30歳代)

5. セクシュアルマイノリティについて (39件)

- ・セクシュアルマイノリティに対する意識が、日本は遅れているように感じます。同性婚を認める国がアジアでも出てきている中で、日本も多様性に対してポジティブになる必要があるのではないのでしょうか。男女差、マイノリティに関わらず自分と異なる他者に対して寛容な人材の育成がこれからは大切であると思います。(女性・20歳代)
- ・セクシュアルマイノリティの方が生活しやすい社会になるように、市・県の単位で法や条例の整備が進んでいけば良いなと思っています。平塚市にも一早く動いて頂ければと思います。知人にそのことで悩んでいた人がおり、もっとそういった事が進んでいけばと強く思ったので。(女性・20歳代)
- ・LGBT等、様々な個性を認めることはいじめ等の防止にもつながると思うので子供や大人にも知ってもらいたいと思います。(女性・30歳代)
- ・力を入れるのはよいが、注目されることを是としない当事者の方も多いため、デリケートな話題だということを再度確認しつつ慎重にいくほうがよいとおもう。(女性・30歳代)
- ・同性パートナーシップではなく、通常の婚姻が認められる法改正こそが平等かと思います。(女性・40歳代)
- ・社会的偏見は解消すべきと思うが、公共的に認めるのは問題だと思う。(男性・50歳代)
- ・法の下に平等という観点からは誰もが平等に扱われるべきではある。しかし、パートナーシップと婚姻を同等とするには違和感が有る。(男性・60歳代)

6. その他 (58件)

- ・結婚時の選択的夫婦別姓を認めてください。さらには新しい戸籍同様、新しい姓を設けられるのが平等且つ合理的だと考えます。市政の範囲を超えることとは思いますがお願いします。(女性・20歳代)
- ・全ての人たちにとって、住みやすい社会になることを心から願っています。アンケートだけにとどまらないように実際の活動を是非頑張ってくださいと思います。(女性・20歳代)
- ・昔は～など今までが普通と考えている世の中を変えない限り変わっていかないと思います。(女性・20歳代)
- ・今回のアンケートに回答することによって、LGBTの方には「男女共同参画」という表現も気になるものなのかと思いました。考えすぎかもしれませんが。(女性・40歳代)
- ・平塚市のプラン2017の存在自体を知らなかった。私の情報収集不足もあると思うが、発信側の問題もあると思う。具体的にどうしたいのか分からない。時間をかけて回答しているのだから、アンケート結果とその結果を市がどう考えているのか発信して欲しい。(男性・40歳代)

男女平等意識と実態についてお聞きします。

問1 あなたは次の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

①～⑦の項目ごとに1つずつ選んでください。

	男性の方が 優遇されている	どちらかという と男性の方が 優遇されている	平等である	どちらかという と女性の方が 優遇されている	女性の方が 優遇されている
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5
④ 政治の場	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度上	1	2	3	4	5
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑦ 地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）	1	2	3	4	5

問2 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問3 男女共同参画に関する次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりして、知っているものについてすべて選んでください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1 男女共同参画社会 | 2 男女共同参画週間（毎年6/23～29） |
| 3 女性活躍推進 | 4 ジェンダー（社会的性差） |
| 5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） | 6 育児・介護休業法 |
| 7 イクメン | 8 イクボス |
| 9 ドメスティック・バイオレンス（DV） | 10 デートDV |
| 11 女性に対する暴力をなくす運動（毎年11/12～25） | 12 マタニティ・ハラスメント |
| 13 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ） | |
| 14 ポジティブ・アクション（積極的改善措置） | 15 すべて知らない |

※ 用語については「用語の説明」をご覧ください。

仕事や家庭、地域生活などについてお聞きします。

問4 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味等)の優先度について、項目ごとに1つずつ選んでください。

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	わからない
① あなたご自身の現状	1	2	3	4	5	6	7	8
② あなたの希望	1	2	3	4	5	6	7	8

問5 あなたの家庭では、次の①～④のことを主に誰が担っていますか。項目ごとに1つずつ選んでください。ご自身に該当しない場合は、ご自身ならどうするか想定してお答えください。

なお、配偶者には事実婚等のパートナーも含まれます。

	主に自分	主に配偶者	くらい分担	夫婦(自分と配偶者)が同じ	家族	夫婦(自分と配偶者)以外の	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7		
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7		
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7		
④ 自治会活動など地域の活動	1	2	3	4	5	6	7		

問6 あなたは、次の①～④について、家庭における役割は誰が担うのが望ましいと思いますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

	主に夫	主に妻	分担 夫と妻が同じくらい	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
④ 自治会活動など地域の活動	1	2	3	4	5	6	7

問7 次の①～⑨の中で、あなたが各活動に費やしている時間は一日のうちどれくらいですか。(配偶者がいる方は、その方についてもお答えください。)該当しない項目は、枠内に「-」を記入してください。回答の合計が24時間になるようにお答えください。

	(1) あなた		(2) 配偶者	
	仕事や学校のある日	休みの日 仕事や学校のない日	仕事や学校のある日	休みの日 仕事や学校のない日
① 仕事・学校 (通勤・通学時間 除く)	時間 分		時間 分	
② 通勤・通学時間	時間 分		時間 分	
③ 家事 (炊事、買い物、 洗濯、掃除等)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
④ 育児・子育て	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑤ 介護・看護	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑥ 自治会活動 などの地域活動	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑦ 個人の時間 (学習、趣味、友人 付き合い等)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑧ 睡眠時間	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑨ その他	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
合計	24時間00分	24時間00分	24時間00分	24時間00分

ドメスティック・バイオレンス(DV)についてお聞きします。

問9 あなたは、次の①～⑭の各項目のようなことが、配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力※だと思いませんか。項目ごとに1つずつ選んでください。

問10 あなたは、次の①～⑭の項目のようなことについて、過去1年以内に配偶者やパートナー、交際相手に対して、「した」または「された」経験がありますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

	問9		問10		
	暴力だと		した	された	経験は ない
	思う	思わない			
① 平手で打つ	1	2	1	2	3
② 殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す	1	2	1	2	3
③ 大声でどなる	1	2	1	2	3
④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	1	2	1	2	3
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	1	2	1	2	3
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	1	2	1	2	3
⑦ 外出を制限する	1	2	1	2	3
⑧ 何を言っても無視し続ける	1	2	1	2	3
⑨ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う	1	2	1	2	3
⑩ 家に生活費を入れない	1	2	1	2	3
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	1	2	1	2	3
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	1	2	3
⑬ 性的な行為を強要する	1	2	1	2	3
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	1	2	1	2	3

※暴力は、身体的・精神的・性的・経済的暴力等をいいます。

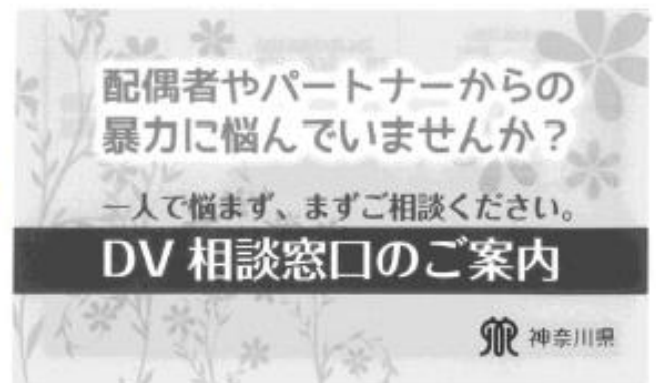
問11 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について相談できる場所として、次の窓口や機関があることを知っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」
- 2 神奈川県の相談窓口（配偶者暴力相談支援センター 他）
- 3 法務局（女性の人権ホットライン、みんなの人権110番 他）
- 4 人権擁護委員（人権相談）
- 5 市役所
- 6 警察
- 7 病院
- 8 その他（ご記入ください： _____）
- 9 相談できる場所を知らない

問12 平塚市では、市役所や公民館などの市内公共施設のトイレに「DV相談窓口のご案内」カードを配架しています。あなたは、「DV相談窓口のご案内」カードを知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 見たことがある | 2 聞いたことがある |
| 3 もらったことがある | 4 知らない |

「DV相談窓口のご案内」カード



セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)についてお聞きします。

問13 あなたは、セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)という言葉を知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

問14 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向(同性愛など)に悩んだことはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ

問15 セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない → 問18へ
- 4 思わない → 問18へ

問15で、「1 思う」「2 どちらかと言えば思う」と回答した方にお聞きします。

問16 それは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 いじめ(悪口、いやがらせなど)や差別を受けているから
- 2 自らが認識する性とは異なる性のふるまい(服装、言葉遣いなど)を強要されるから
- 3 性別で区分された設備(トイレなど)を使いづらいから
- 4 書類等で性別の記入を強要されているから
- 5 家族や友人等に相談しづらい状況にあるから
- 6 就職、仕事、待遇等で不利・不当な扱いを受けているから
- 7 同性パートナーとの関係を認めてもらえないから
- 8 法整備が不十分であり、婚姻や相続などで不利益を受けているから
- 9 行政機関などの相談・支援体制が不十分であるから
- 10 その他(ご記入ください:)

平塚市男女共同参画に関する
市民意識調査報告書

令和2年（2020年）1月

編集・発行：平塚市市民部人権・男女共同参画課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話：0463-21-9861（ダイヤルイン）

FAX：0463-21-9756
